

幸町地区総合整備事業案



令和6年6月

幸町地区総合整備検討有識者会議
(事務局: 呉市企画部)

【目次】

- 幸町地区総合整備案・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・P 1
- 幸町地区に求める機能と各機能の想定面積・・・・・・・・・・P 2
- 幸町地区施設・機能配置案A案 美術館現所在地建替案・・・・P 3
 - ・青山クラブ保存・活用パターン比較表 A案・・・・・・・・・・P 4
 - ・A-1案 青山クラブ全部保存案・・・・・・・・・・・・・・・・P 5
 - ・A-2案 青山クラブ一部保存案・・・・・・・・・・・・・・・・P 6
 - ・A-3案 青山クラブ外壁保存案・・・・・・・・・・・・・・・・P 7
- 幸町地区施設・機能配置案B案 美術館青山クラブ敷地新築案・・P 8
 - ・青山クラブ保存・活用パターン比較表 B案・・・・・・・・・・P 9
 - ・B-1案 青山クラブ一部保存＋外壁保存案・・・・・・・・・・P 10
 - ・B-2案 青山クラブ一部保存・・・・・・・・・・・・・・・・P 11
 - ・B-3案 青山クラブ外壁保存案・・・・・・・・・・・・・・・・P 12
- 桜松館全部保存案・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・P 13

◆幸町地区総合整備案

①美術館の建替、②青山クラブの保存・活用方法に係るこれまでの有識者会議での議論を踏まえ、次のとおり整備案を提示します。

①美術館の建替について

幸町地区の施設の機能配置を検討するに当たって、これまでの有識者会議での議論を踏まえ、美術館の建替について、2案を挙げ、それぞれのメリット、整備に当たっての課題を提示します。

A案 美術館現在地建替案（3階建て）

●整備概要

- ・現在地で建替、3階建て
- ・土砂災害特別警戒区域を除く現在地での建築可能面積：約1,500㎡
- ・延べ床面積：約4,500㎡
- ・桜松館との一体的な建物の活用について検討

●メリット

- ・現在地での建替となり、故山苑、美術館、桜松館の一体的な活用が可能となる。
- ・国道沿いから奥まったところに美術館を配置することで、閑静な落ち着いた雰囲気を感じることができる美術館とすることができる。

●整備に当たっての課題

- ・建築面積が狭く（約1,500㎡）、建物のレイアウトが制限されることが懸念される。
- ・3階建ての建物になるため、幸町地区の景観との調和を保った建物を建設する必要がある。また、入館者及び施設管理者にとっても、1階から3階までの移動による負担が生じる。
- ・現地建替の場合、美術館に長期の休館期間が生じる。
- ・青山クラブの建物を活用する面積がB案に比べて大きくなるが、補強により、建物の活用可能面積が縮小するとともに、天井高が低くなることで、青山クラブの建物の使用方法が制限されることが懸念される。

B案 美術館青山クラブ敷地新築案（2階建て）

●整備概要

- ・青山クラブ敷地の一部に新築、2階建て
- ・建築面積：約2,250㎡、延べ床面積：約4,500㎡
- ※青山クラブ敷地のうち、土砂災害特別警戒区域を除く面積：約2,800㎡
- ・桜松館との一体的な建物の活用について検討

●メリット

- ・建築面積を広く設定することができ、美術館として、自由度の高い建物のレイアウトが可能となる。
- ・2階建ての建物にすることで、幸町地区の景観との調和を確保することが可能となる。
- ・新築とすることで、リニューアルによる休館期間が短期間となる。
- ・国道沿いに美術館を配置することで、中庭を含めて開放感のある美術館とすることができる。
- ・幸町地区の一番低い場所に美術館を設置することで、子どもや高齢者の訪れやすい施設となり、地区全体の集客力あるエントランスになる。

●整備に当たっての課題

- ・故山苑との一体的な活用が困難となる（桜松館との一体的な活用は可能）。
- ※新たに整備する美術館は、天井高4.5mが求められているが現在の青山クラブの建物では、天井高を確保することができない。
- ⇒このため、青山クラブ敷地の一部に美術館を新築する場合、青山クラブの建物の一部を解体する必要がある。

②青山クラブの保存・活用について

青山クラブの保存・活用方法（全部保存、一部保存、外壁保存）に関するこれまでの有識者会議での議論を踏まえ、A案 美術館現在地建替案、B案 美術館青山クラブ敷地新築案について、それぞれ3案ずつ検討し、6案を提示します。

A-1案 青山クラブ全部保存案

A-2案 青山クラブ一部保存案

A-3案 青山クラブ外壁保存案

B-1案 青山クラブ一部保存＋外壁保存案

B-2案 青山クラブ一部保存案

B-3案 青山クラブ外壁保存案

⇒第6回会議において、A-1案からB-3案までの6案の中から2案に絞っていただきます。第6回会議で絞った2案について、今後、詳細な検証作業を実施します。

◆幸町地区に求める機能と各機能の想定面積

青山クラブ
活用想定面積

●A案	3,000㎡	・呉の歴史を伝え、感じる施設	1,500㎡
		・まちの情報発信・賑わいの拠点	1,500㎡
●B案	1,500㎡	・まちの情報発信・賑わいの拠点	1,500㎡

呉の歴史を伝え、感じる施設

※赤字：第5回会議での追加

幸町地区に求める機能	新たに整備する施設と想定面積	面積参考・備考	A案	B案
・郷土館・歴史民俗資料館の機能の充実	・歴史展示室・収蔵庫 1,000㎡	・郷土館（延べ床面積：約354㎡） ・2号館（建築面積：約76㎡） ・歴史民俗資料館（延べ床面積：約485㎡）	青山クラブ	旧美術館
・海軍関連の文学作品・資料の展示、書斎の再現	・文学館 400㎡	・大和ミュージアム大和ホール（約367㎡）	青山クラブ	旧美術館
・「この世界の片隅に」の原画等の展示	⇒映像作品ライブラリー —	—	青山クラブ	旧美術館
・映像作品ライブラリー、ロケ作品の紹介	・映像作品ライブラリー 100㎡	・大和ミュージアムライブラリー（約111㎡）	青山クラブ	旧美術館
・青山クラブ及び桜松館を含めた幸町地区の歴史の紹介（パネル展示）	⇒歴史展示室 —	—	青山クラブ	旧美術館
・旧呉鎮守府司令長官官舎のユニークペニユールとしての活用	— —	—	旧呉鎮守府司令長官官舎	
・旧鎮守府司令長官官舎周辺の樹木の管理（海の見える眺望の確保）	屋外スペース —	—	幸町エリア全体	
・園内路の整備（当時の遊歩道の復元）	屋外スペース —	—	幸町エリア全体	

文化・芸術に親しみ、発信する施設

幸町地区に求める機能	新たに整備する施設と想定面積	面積参考・備考	A案	B案
・美術館機能の展示スペース、収蔵機能の強化・拡充	・新美術館 4,850㎡	・うち講座室等350㎡は桜松館で確保	新美術館	
・音楽やダンスなどの活動を発表できるホール機能	・多目的ホール 330㎡	・桜松館ホール（約330㎡） ・呉市生涯学習センター音楽ホール（約250㎡）	桜松館	
・音楽活動の練習室	・音楽活動練習室 70㎡	・桜松館音楽活動練習室（約70㎡）	桜松館	
・絵画教室などのサークル活動やワークショップができる多目的スペース、貸館機能	・多目的スペース・貸室 800㎡	・ビュー・ポートくれ大会議室（約160㎡）×2室分 ・ビュー・ポートくれ中会議室（約90㎡）×5室分	桜松館	
・呉市の食文化の紹介	⇒歴史展示室 —	—	青山クラブ	旧美術館
・故山苑の魅力向上	屋外スペース —	—	新美術館	旧美術館

まちの情報発信・賑わいの拠点

幸町地区に求める機能	新たに整備する施設と想定面積	面積参考・備考	A案	B案
・まちのインフォメーション、情報発信コーナー	・情報発信コーナー 300㎡	・旧くれ観光情報プラザ（約260㎡）	青山クラブ	
・サイクリストの休憩スペース（サイクルスタンド）	屋外スペース —	—	青山クラブ	
・カフェまたはレストラン	・カフェ・レストラン 300㎡	・呉市立美術館別館1階（約310㎡）	青山クラブ	
・物販施設（美術館と併設したショップ、呉のお土産の販売、チャレンジショップ、マルシェ等）	・物販施設 700㎡	・ビュー・ポートくれテナント（約480㎡）	青山クラブ	
・宿泊施設	・宿泊施設 施設規模による	・実現性・収益性の検証が必要	青山クラブ	
・青山クラブ中庭の整備（イベント開催が可能なオープンスペース）	屋外スペース —	—	青山クラブ	
・誰でも休憩できるフリースペース	・フリースペース 200㎡	・呉市生涯学習センター407・408室（約190㎡）	青山クラブ	
・スポーツ施設の関連施設	⇒美術館別館1階で検討 —	—	美術館別館	



①美術館

- 文化・芸術に親しみ、発信する施設
- ・新美術館、故山苑の魅力向上

②青山クラブ

- 呉の歴史を伝え、感じる施設
- ・歴史展示室・収蔵庫(2号館・郷土館の機能移転)
- ・文学館、「この世界の片隅に」展示スペース、映像作品ライブラリー
- まちの情報発信・賑わいの拠点
- ・情報発信コーナー、フリースペース、サイクルスタンド
- ・カフェ・レストラン、物販施設、宿泊施設
- ・青山クラブ中庭の整備(イベント開催が可能なオープンスペース)

③桜松館

- ホール機能の活用、新たに整備する美術館と一体的に活用
- 文化・芸術に親しみ、発信する施設
- ・多目的ホール、音楽活動練習室、多目的スペース・貸室

④美術館別館

- 新美術館に専用の収蔵庫を整備⇒第2収蔵庫として活用
- 1階部分は、陸上競技場の関連施設としての活用を検討
- 文化・芸術に親しみ、発信する施設
- ・美術館機能の展示スペース、収蔵機能の強化・拡充
- まちの情報発信・賑わいの拠点
- ・スポーツ施設の関連施設

⑤入船山記念館

ア 旧呉鎮守府司令長官官舎

- 呉の歴史を伝え、感じる施設
- ・通常の見学に加え、ユニークベニューとしての活用

イ 歴史民俗資料館(近世文書館)

- 呉の歴史を伝え、感じる施設
- ・郷土館・歴史民俗資料館の資料の充実
- ・収蔵庫を活用した歴史資料(近世文書等)の収蔵

ウ 旧高鳥砲台火薬庫, 旧呉海軍工廠塔時計, 旧東郷家住宅離れ

- 呉の歴史を伝え、感じる施設
- ・通常の見学に加え、ユニークベニューとしての活用

エ 2号館, 郷土館

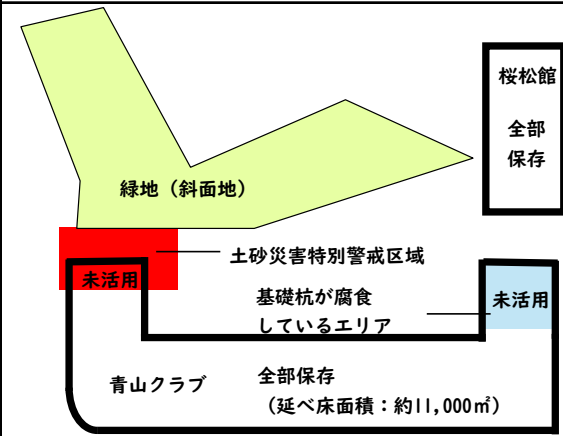
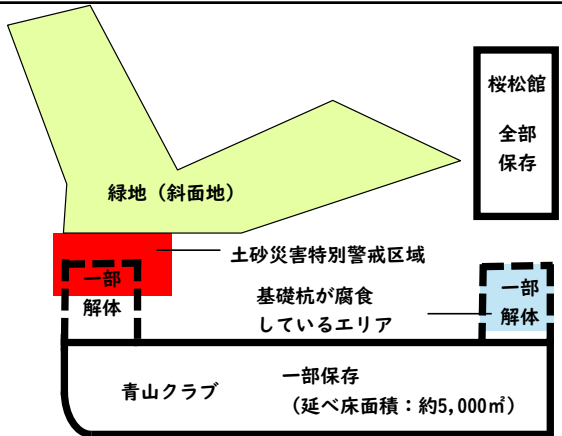
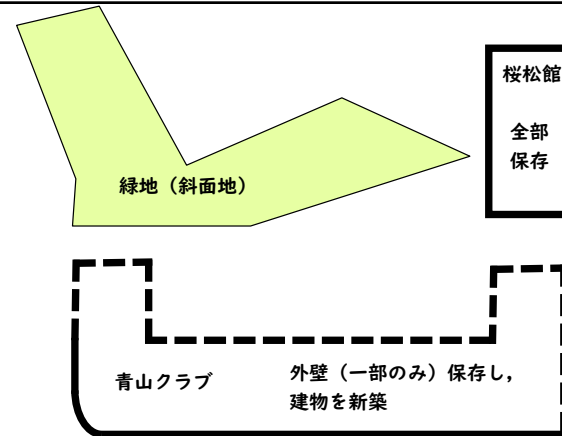
- 青山クラブへの機能移転(移転後は民間活用や解体を含めて検討)

⑥幸町エリア全体

- 呉の歴史を伝え、感じる施設
- ・旧鎮守府司令長官官舎周辺の樹木の管理(海の見える眺望の確保)
- ・園内路の整備(当時の遊歩道の復元)

青山クラブ保存・活用パターン比較表（桜松館は、建物を全部保存し、文化・芸術に親しみ、発信する施設、美術館関連施設として活用）

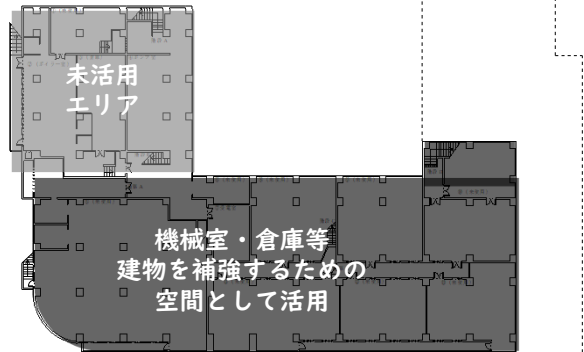
A案 美術館現在地建替案（3階建て）

整備案		A－1案 青山クラブ全部保存案		A－2案 青山クラブ一部保存案		A－3案 青山クラブ外壁保存案	
整備案概要		・青山クラブの建物を全部保存した形で利活用する。ただし、 <u>土砂災害特別警戒区域部分、基礎杭が腐食している区域は未活用エリアとする（耐震改修工事、補強工事、アスベストの除去は実施するが、内装・設備工事等は実施しない）。</u> ・必要な機能の想定面積を全て収めることが可能		・青山クラブの建物のうち、 <u>土砂災害特別警戒区域部分、基礎杭が腐食している区域を一部解体し、国道沿いの部分を保存した形で利活用する。</u> ・必要な機能の想定面積を全て収めることが可能		・青山クラブの外壁を残して建物を解体し、必要な機能の想定面積の建物を新築整備する。	
平面図							
各案の比較ポイント		【青山クラブ】 ・青山クラブの建物を全て保存することができる。 ・3階部分に将来活用エリア（約1,500㎡）を配置できる。 ・必要な機能の想定面積に対して <u>延べ床面積が大きく、未活用となるエリアが生じる。</u> ・必要な機能・面積に対して建物の規模が大きく、耐震改修等対策工事が多くなることから、 <u>整備費が最も大きくなる。</u> 【中庭】 ・建物を全部保存することで、 <u>中庭も当時の雰囲気が残る。</u>		【青山クラブ】 ・青山クラブの建物の大部分を保存・活用することができる。 ・3階部分に将来活用エリア（約1,500㎡）を配置できる。 ・建物の一部解体により、 <u>延べ床面積を減少させることで、余剰面積がなくなるとともに、A－1案に対して整備費を縮減することができる。</u> ・必要な機能・面積に対して <u>適切な規模の建物とすることが</u> できる。 【中庭】 ・一部解体により、中庭と解体部分を合わせて、 <u>広い空間を確保することができる</u> とともに、美術館通りからのオープンスペースとして活用することが可能		【新築建物】 ・青山クラブの建物の外壁を保存することで、 <u>青山クラブのイメージを残しつつ、配置する機能に応じた建物を柔軟に整備</u> できる。 ・必要な機能・面積に応じた適切な建物を整備する。 【中庭】 ・中庭について、 <u>広い空間を確保するとともに、美術館通りからのオープンスペースとして活用することが可能</u>	
		【青山クラブの保存部分】 ・補強により、建物の活用可能面積が減少するとともに、天井高が低くなることで、 <u>建物内部の使用方法が制限されることが懸念される。</u> ・スラブ・梁とも耐荷重が小さく、 <u>建物全体で床補強が必要となり、補強費の増大が懸念される。</u> ・既存建物を利用した改修となるため、新築建物と比較した場合、 <u>将来的な維持管理に係る費用が増大することが懸念される。</u> ・現行法規の制定以前に建築された建物のため、利活用にあたっての改修方法について、 <u>現行法規への適合性の整理が必要</u> になるとともに、活用に当たって、制約が生じることが懸念される。 ・保存部分についても、 <u>現在の建物をそのまま活用することはできない（建物の大部分において耐震改修工事・補強工事、アスベストの除去、内装・設備機器一式の更新等、大規模な改修が必要）。</u>		【新築建物】 ・機能に応じて、建物の大きさ、レイアウトを自由に設定することが可能となる。 ・建物の耐震改修・補強工事に比べて、 <u>整備費を抑えることが可能となる。</u> ・整備後の維持管理に係る費用が、建物を保存する場合と比較して縮減される。 ・新築建物は、 <u>現行法規に対応した仕様により整備することが可能となる。</u>			
整備費（※Ⅰ）	施設名	青山クラブ	桜松館	青山クラブ	桜松館	青山クラブ	桜松館
	耐震・補強	約4.2億円	約1.1億円	約2.2億円	約1.1億円	—	約1.1億円
	アスベスト除去	約3億円	約1億円	約3億円	約1億円	約3億円	約1億円
	建物等撤去	約3億円	—	約6億円	—	約1.1億円	—
	建物・外構	約4.5億円	約1.3億円	約2.6億円	約1.3億円	約1億円	約1.3億円
	整備費合計	約9.3億円	約2.5億円	約5.7億円	約2.5億円	約1.5億円	約2.5億円
両施設整備費	約11.8億円（※）		約8.2億円（※）		約4.0億円（※）		
（※）青山クラブ・桜松館の改修等の整備費（新築建物の整備費、美術館建替費、入船山記念館関連の整備費は含まない）。							

（※Ⅰ）整備費は、概算の数値です。第6回会議において、A－1案からB－3案までの6案の中から絞っていただいた2案について、今後、検証を行う中で、詳細な整備費を算出します。

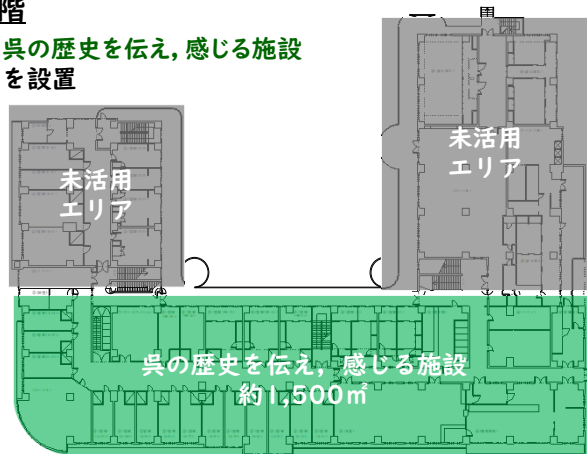
地下1階

- ・機械室・倉庫等，建物を補強するための空間として活用

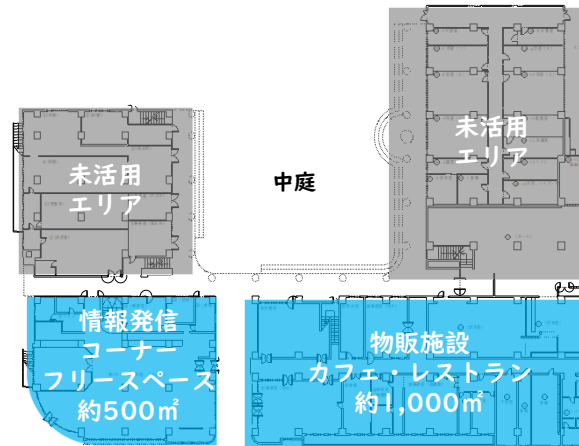


2階

- ・呉の歴史を伝え，感じる施設を設置



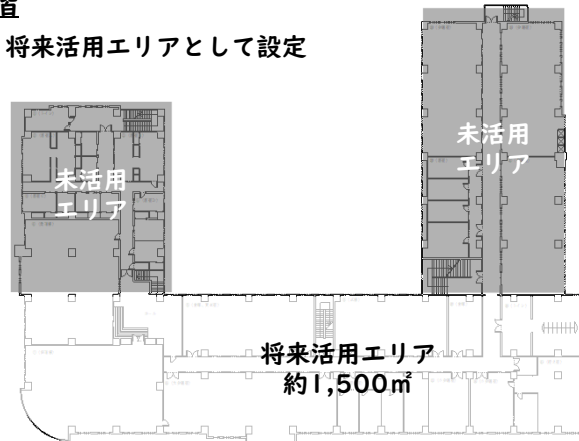
1階



※来場者が利用しやすい1階にまちの情報発信・賑わいの拠点を配置

3階

- ・将来活用エリアとして設定



青山クラブ全部保存

⇒土砂災害特別警戒区域部分，基礎杭が腐食している区域は未活用エリアに設定

1階

まちの情報発信・賑わいの拠点 1,500㎡

情報発信コーナー

フリースペース

物販施設

カフェ・レストラン

2階

呉の歴史を伝え，感じる施設 1,500㎡

歴史展示室・収蔵庫

文学館

映像作品ライブラリー

3階

将来活用エリア（将来活用機能案）

まちの情報発信・賑わいの拠点

宿泊施設



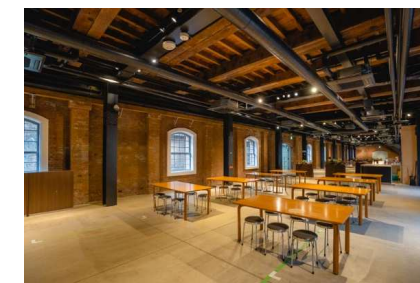
ホテルK5【出典】公式HP



倉庫アイビススクエア【出典】公式HP



金森赤レンガ倉庫【出典】公式HP

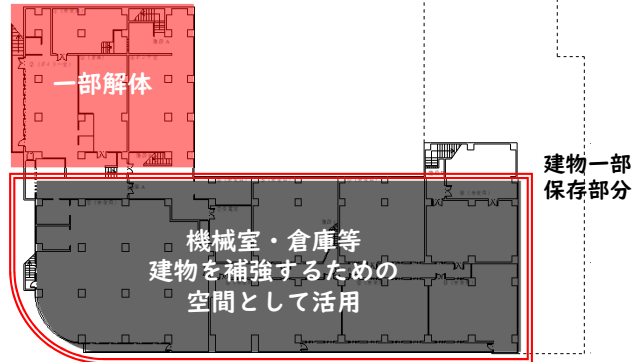


舞鶴赤れんがパーク・フリースペース【出典】公式HP

A-2案 美術館現在地建替案（3階建て） + 青山クラブ一部保存案

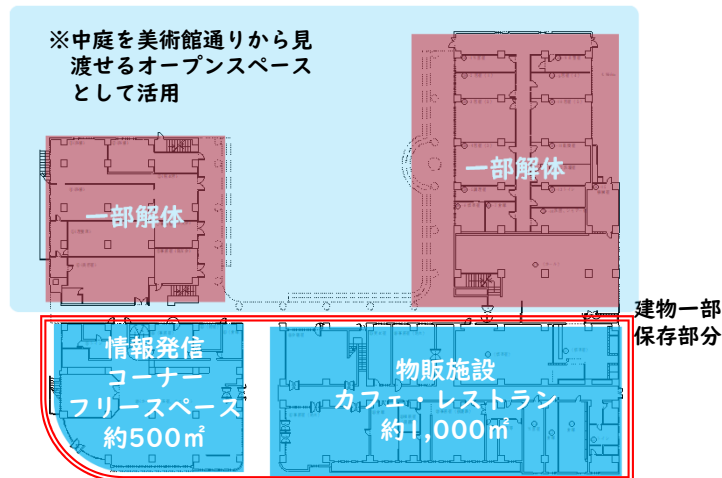
地下1階

- ・機械室・倉庫等，建物を補強するための空間として活用



1階

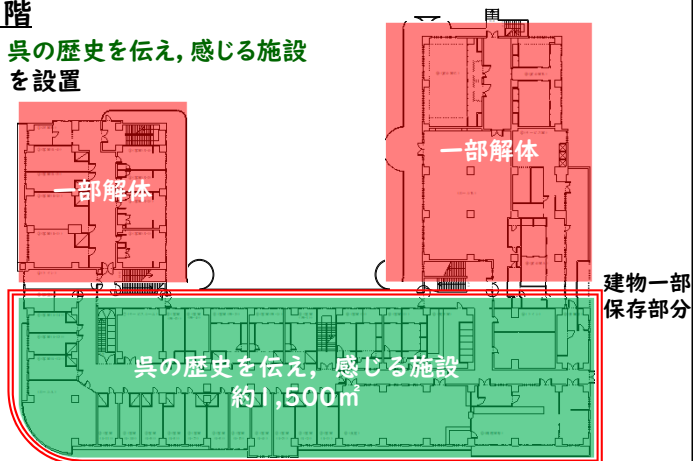
- ※中庭を美術館通りから見渡せるオープンスペースとして活用



- ※来場者が利用しやすい1階にまちの情報発信・賑わいの拠点を配置

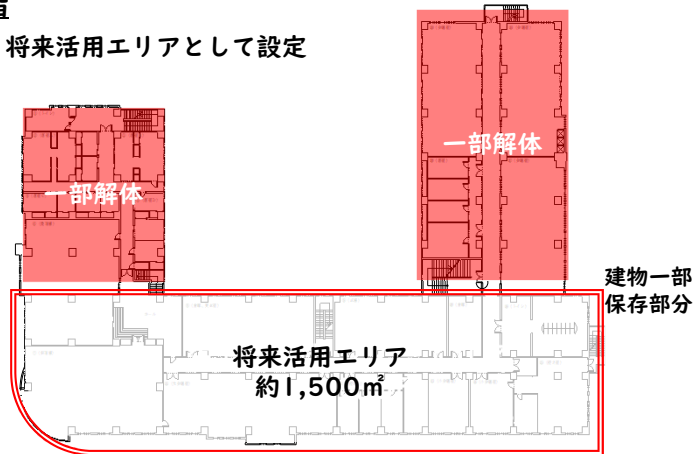
2階

- ・呉の歴史を伝え、感じる施設を設置



3階

- ・将来活用エリアとして設定



青山クラブ一部保存
⇒土砂災害特別警戒区域部分，基礎杭が腐食している区域を解体

1階

まちの情報発信・賑わいの拠点 1,500㎡

情報発信コーナー

フリースペース

物販施設

カフェ・レストラン

2階

呉の歴史を伝え、感じる施設 1,500㎡

歴史展示室・収蔵庫

文学館

映像作品ライブラリー

3階

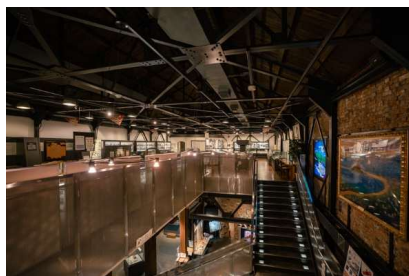
将来活用エリア（将来活用機能案）

まちの情報発信・賑わいの拠点

宿泊施設



赤れんが博物館【出典】公式HP



赤れんが博物館【出典】公式HP



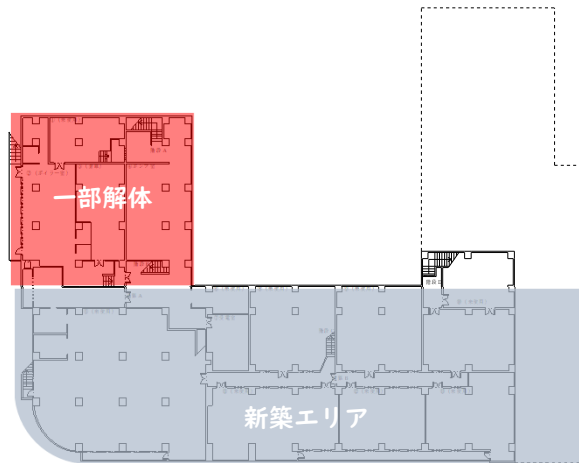
立誠ひろば【出典】公式HP



まるびいArt Complex【出典】金沢21世紀美術館 HP

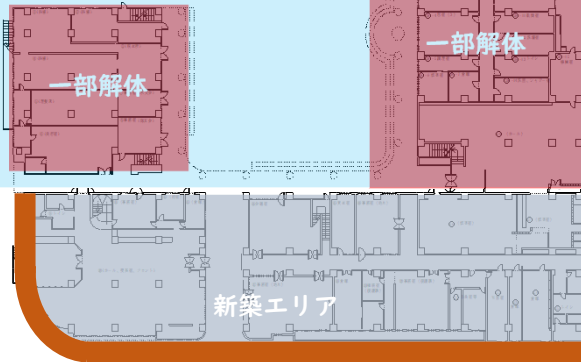
A-3案 美術館現在地建替案（3階建て） + 青山クラブ外壁保存案

地下1階



1階

※中庭を美術館通りから見渡せるオープンスペースとして活用



青山クラブ外壁保存

⇒青山クラブの外壁を残して建物を解体したスペースに下記の案をもとに機能を検討し、複合施設を新築整備

呉の歴史を伝え、感じる施設

歴史展示室・収蔵庫

文学館

映像作品ライブラリー

まちの情報発信・賑わいの拠点

情報発信コーナー

カフェ・レストラン

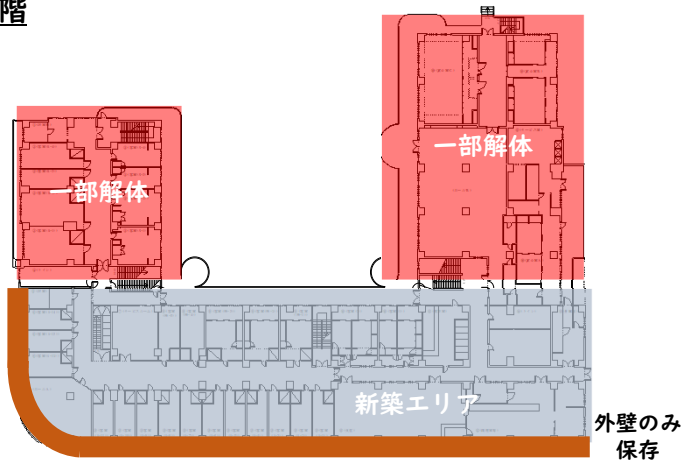
フリースペース

物販施設

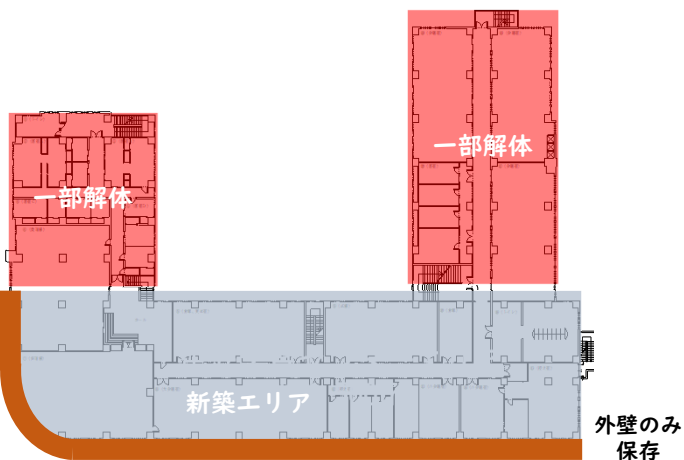
宿泊施設

フリースペース

2階



3階



九段会館テラス



九段会館テラス【出典】公式HP



日本橋ダイヤビルディング【出典】公式HP



入船山秋祭り



①-1 新美術館

- 文化・芸術に親しみ、発信する施設
- ・新美術館

①-2 旧美術館⇒歴史展示室・収蔵庫

- 呉の歴史を伝え、感じる施設
- ・歴史展示室・収蔵庫(2号館・郷土館の機能移転), 故山苑の魅力向上
- ・文学館, 「この世界の片隅に」展示スペース, 映像作品ライブラリー

②青山クラブ

- まちの情報発信・賑わいの拠点
- ・情報発信コーナー, フリースペース, サイクルスタンド
- ・カフェ・レストラン, 物販施設, 宿泊施設
- ・青山クラブ中庭の整備(イベント開催が可能なオープンスペース)

③桜松館

- ホール機能の活用, 新たに整備する美術館と一体的に活用
- 文化・芸術に親しみ、発信する施設
- ・多目的ホール, 音楽活動練習室, 多目的スペース・貸室

④美術館別館

- 新美術館に専用の収蔵庫を整備⇒第2収蔵庫として活用
- 1階部分は, 陸上競技場の関連施設としての活用を検討
- 文化・芸術に親しみ、発信する施設
- ・美術館機能の展示スペース, 収蔵機能の強化・拡充
- まちの情報発信・賑わいの拠点
- ・スポーツ施設の関連施設

⑤入船山記念館

- ア 旧呉鎮守府司令長官官舎
- 呉の歴史を伝え、感じる施設
- ・通常の見学に加え, ユニークベニューとしての活用
- イ 歴史民俗資料館(近世文書館)
- 呉の歴史を伝え、感じる施設
- ・郷土館・歴史民俗資料館の資料の充実
- ・収蔵庫を活用した歴史資料(近世文書等)の収蔵
- ウ 旧高鳥砲台火薬庫, 旧呉海軍工廠塔時計, 旧東郷家住宅離れ
- 呉の歴史を伝え、感じる施設
- ・通常の見学に加え, ユニークベニューとしての活用
- エ 2号館, 郷土館
- 旧美術館への機能移転(移転後は民間活用や解体を含めて検討)

⑥幸町エリア全体

- 呉の歴史を伝え、感じる施設
- ・旧鎮守府司令長官官舎周辺の樹木の管理(海の見える眺望の確保)
- ・園内路の整備(当時の遊歩道の復元)

青山クラブ保存・活用パターン比較表（桜松館はA案と同様）

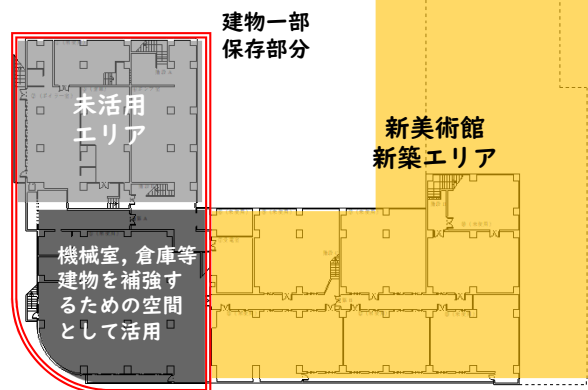
B案 美術館青山クラブ敷地新築案（2階建て）

整備案		B－1案 青山クラブ一部保存＋外壁保存案		B－2案 青山クラブ一部保存案		B－3案 青山クラブ外壁保存案	
整備案概要		・青山クラブの建物の一部を保存し、情報発信、物販・カフェレストラン等の必要な機能の想定面積を収めるとともに、国道沿いの部分の外壁を残して建物を解体したエリアに美術館を新築 ・土砂災害特別警戒区域部分を未活用エリアとする（耐震改修工事、補強工事、アスベストの除去は実施するが、内装・設備工事等は実施しない）。		・青山クラブの建物の一部を保存し、情報発信、物販・カフェレストラン等の必要な機能の想定面積を収めるとともに、残りの建物を解体したエリアに美術館を新築 ・美術館新築部分について、青山クラブの建物のイメージを踏まえた外観とすることは可能 ・土砂災害特別警戒区域部分を未活用エリアとする（耐震改修工事、補強工事、アスベストの除去は実施するが、内装・設備工事等は実施しない）。		・青山クラブの国道沿いの部分の外壁を残して建物を解体したエリアに、美術館、情報発信、物販・カフェレストラン等の必要な機能の想定面積の複合建物を新築整備する。	
平面図							
各案の比較ポイント		【青山クラブ】 ・青山クラブの建物の一部を保存・活用することができる。 【美術館】 ・美術館新築部分について、外壁を保存することで、青山クラブの外観を残すことが可能となる。 ・美術館については自由なレイアウトでの新築が可能 【中庭】 ・中庭について、広い空間を確保するとともに、美術館通りからのオープンスペースとして活用することが可能		【青山クラブ】 ・青山クラブの建物の一部を保存・活用することができる。 【美術館】 ・美術館新築部分について、外壁を撤去するが、青山クラブの建物のイメージを踏まえた外観とすることは可能 ・美術館については自由なレイアウトでの新築が可能 【中庭】 ・中庭について、広い空間を確保するとともに、美術館通りからのオープンスペースとして活用することが可能		【美術館・新築建物】 ・青山クラブの建物の外壁を保存することで、青山クラブのイメージを残しつつ、配置する機能に応じた建物を柔軟に整備できる。 ・必要な機能・面積に応じた適切な建物を整備する。 【中庭】 ・中庭について、広い空間を確保するとともに、美術館通りからのオープンスペースとして活用することが可能	
		【青山クラブの保存部分】A－1案、A－2案より整備費を縮減できる。 ・補強により、建物の活用可能面積が減少するとともに、天井高が低くなることで、建物内部の使用方法が制限されることが懸念される。 ・スラブ・梁とも耐荷重が小さく、建物全体で床補強が必要となり、補強費の増大が懸念される。 ・既存建物を利用した改修となるため、新築建物と比較した場合、将来的な維持管理に係る費用が増大することが懸念される。 ・現行法規の制定以前に建築された建物のため、利活用にあたっての改修方法について、現行法規への適合性の整理が必要になるとともに、活用にあたって、制約が生じることが懸念される。 ・保存部分についても、現在の建物をそのまま活用することはできない（建物の大部分において耐震改修工事・補強工事、アスベストの除去、内装・設備機器一式の更新等、大規模な改修が必要）。		【新築建物】 ・機能に応じて、建物の大きさ、レイアウトを自由に設定することが可能となる。 ・建物の耐震改修・補強工事に比べて、整備費を抑えることが可能となる。 ・整備後の維持管理に係る費用が、建物を保存する場合と比較して縮減される。 ・新築建物は、現行法規に対応した仕様により整備することが可能となる。			
整備費（※1）	施設名	青山クラブ		桜松館		桜松館	
	耐震・補強	約15億円	約11億円	約15億円	約11億円	—	約11億円
	アスベスト除去	約3億円	約1億円	約3億円	約1億円	約3億円	約1億円
	建物等撤去	約9億円	—	約9億円	—	約11億円	—
	建物・外構	約16億円	約13億円	約15億円	約13億円	約1億円	約13億円
	整備費合計	約43億円	約25億円	約42億円	約25億円	約15億円	約25億円
両施設整備費		約68億円（※）		約67億円（※）		約40億円（※）	
※青山クラブ・桜松館の改修等の整備費（美術館の新築費、新築建物の整備費、旧美術館の改修費、入船山記念館関連の整備費は含まない）。							

（※1）整備費は、概算の数値です。第6回会議において、A-1案からB-3案までの6案の中から絞っていただいた2案について、今後、検証を行う中で、詳細な整備費を算出します。

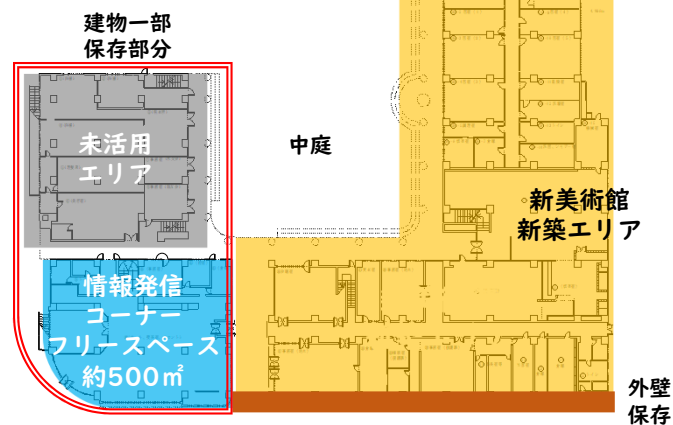
地下1階

- ・機械室・倉庫等，建物を補強するための空間として活用



1階

- ・情報発信コーナーを配置



青山クラブ一部保存+外壁保存
⇒青山クラブの建物のうち，建物の一部と外壁を残し，美術館を新築
⇒青山クラブを一部保存した形で利活用する。
⇒青山クラブの建物を保存したエリアのうち土砂災害特別警戒区域部分は未活用エリアに設定

1階

まちの情報発信・賑わいの拠点 500㎡

情報発信コーナー

フリースペース

2階

まちの情報発信・賑わいの拠点 500㎡

物販施設

3階

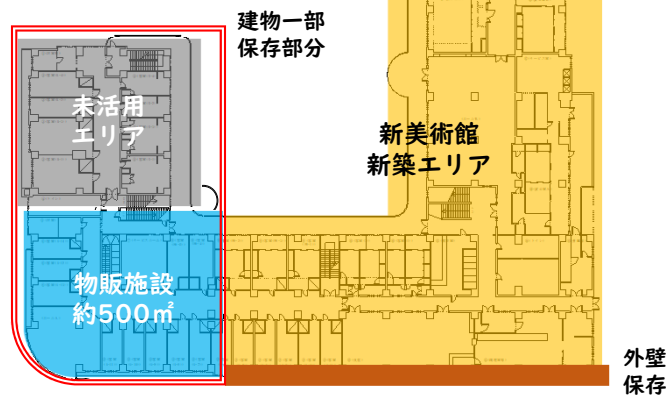
まちの情報発信・賑わいの拠点 500㎡

カフェ・レストラン

物販施設

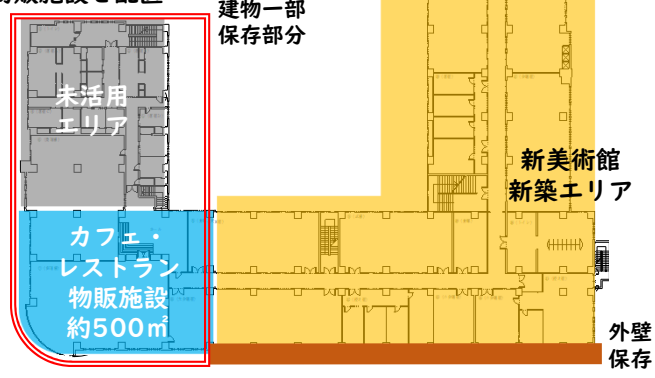
2階

- ・物販施設を配置



3階

- ・カフェ・レストラン
- ・物販施設を配置



倉敷アイビースクエア【出典】公式HP



チャレンジショップ【出典】須賀川市HP



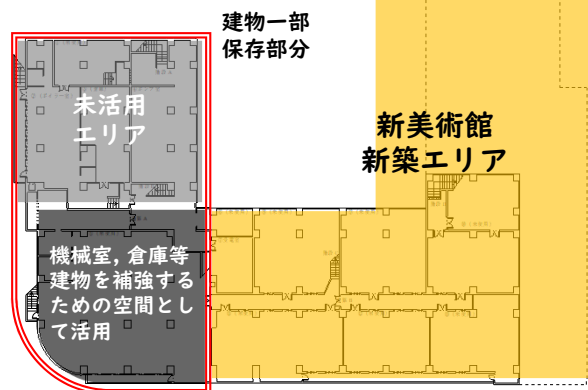
ホテルK5



弘前れんが倉庫美術館【出典】公式HP

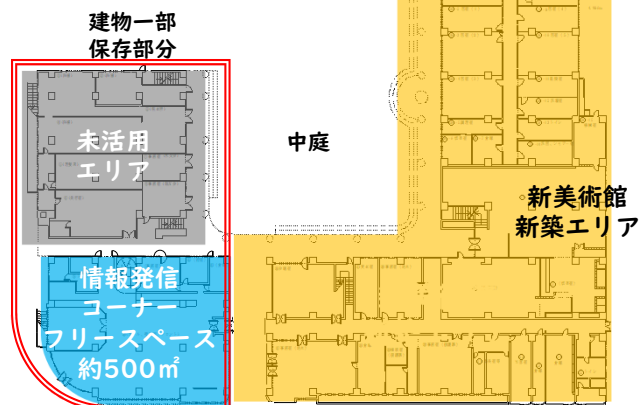
地下1階

- ・機械室・倉庫等，建物を補強するための空間として活用



1階

- ・情報発信コーナーを配置



青山クラブ一部保存

⇒青山クラブの建物のうち，建物の一部を
利活用するとともに建物を解体したス
ペースに美術館を新築
⇒青山クラブの建物を保存したエリアのう
ち土砂災害特別警戒区域部分は未活用エ
リアに設定

1階

まちの情報発信・賑わいの拠点 500㎡

情報発信コーナー

フリースペース

2階

まちの情報発信・賑わいの拠点 500㎡

物販施設

3階

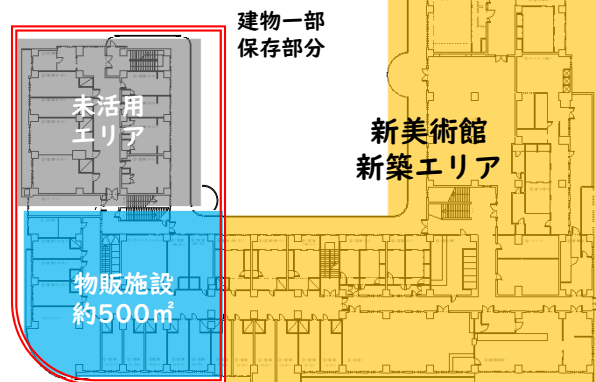
まちの情報発信・賑わいの拠点 500㎡

カフェ・レストラン

物販施設

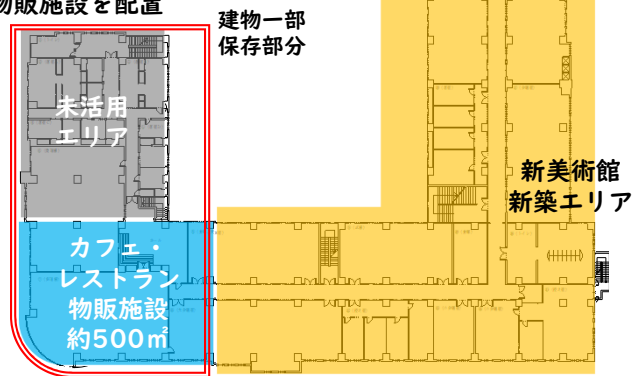
2階

- ・物販施設を配置



3階

- ・カフェ・レストラン
- ・物販施設を配置



八戸市美術館【出典】公式HP



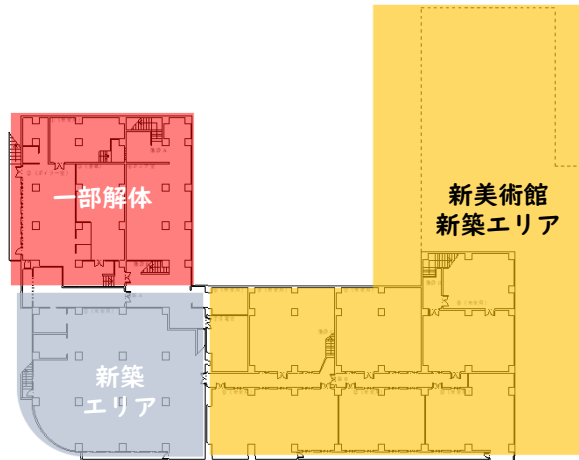
金沢21世紀美術館【出典】公式HP



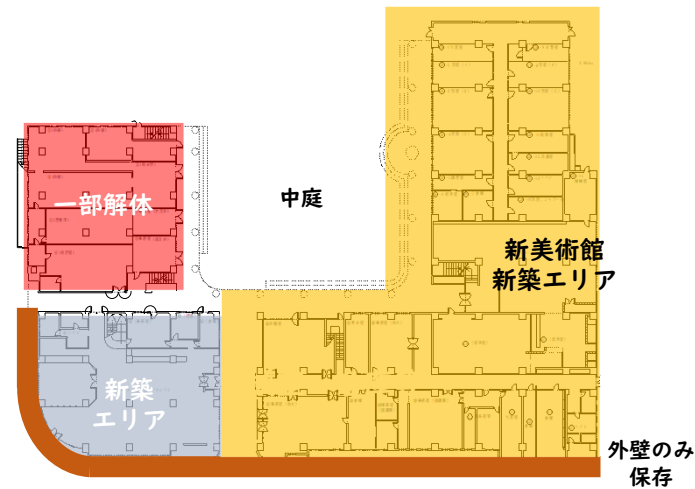
金沢市民芸術村【出典】公式HP

B-3 案 美術館青山クラブ敷地新築案（2階建て） + 青山クラブ外壁保存案

地下1階



1階



青山クラブ外壁保存
⇒青山クラブの外壁を残して建物を解体したスペースに下記の案をもとに機能を検討し、複合施設を新築整備
⇒新美術館との一体的な整備の検討

まちの情報発信・賑わいの拠点

情報発信コーナー

カフェ・レストラン

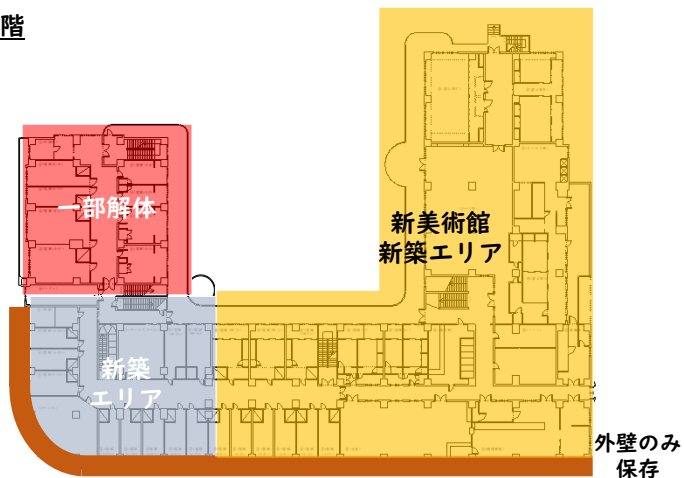
フリースペース

物販施設

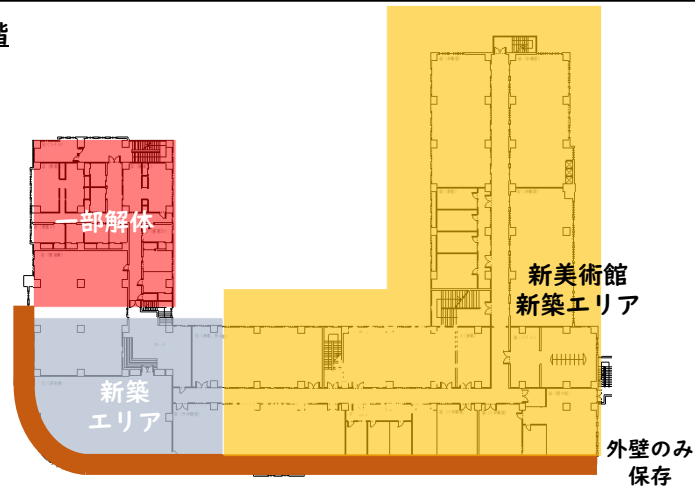
宿泊施設

フリースペース

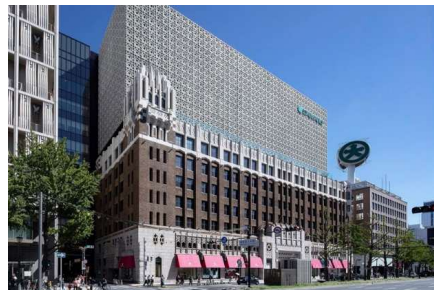
2階



3階



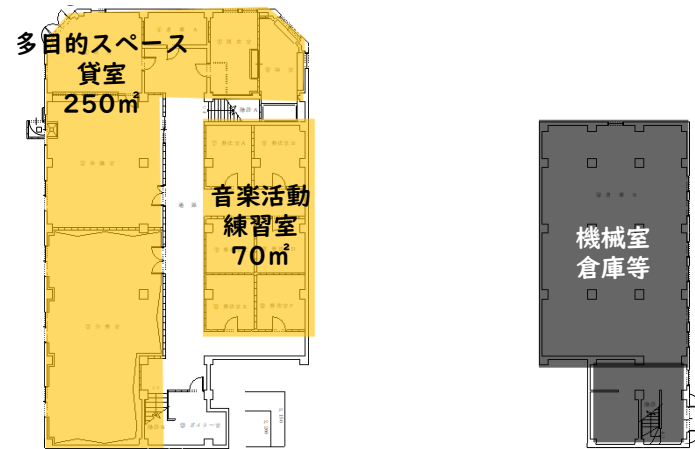
大林組旧神戸支店【出典】公式HP



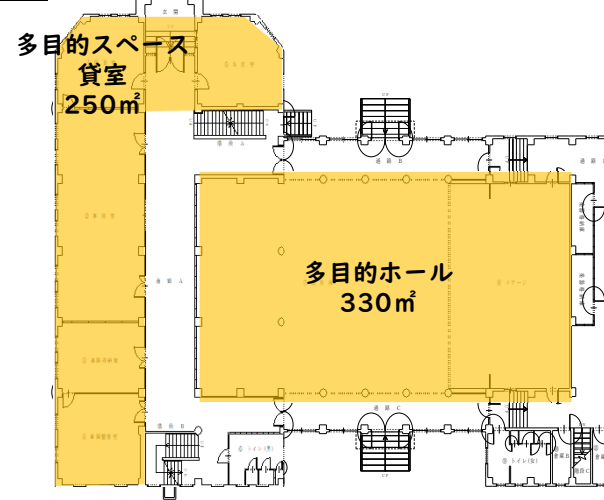
大丸心斎橋店本館【出典】竹中工務店公式HP



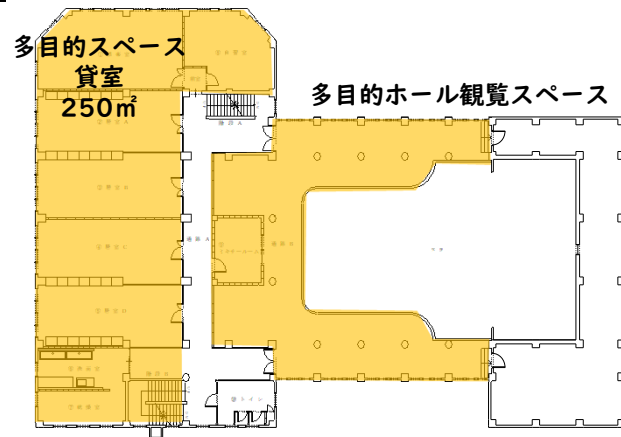
地下1階



1階



2階



桜松館ホール

桜松館全部保存

⇒桜松館の建物を全部保存・活用

地下1階

文化・芸術に親しみ、発信する施設

音楽活動練習室	70m ²
多目的スペース・貸室	250m ²

1階

文化・芸術に親しみ、発信する施設

多目的ホール	330m ²
多目的スペース・貸室	250m ²

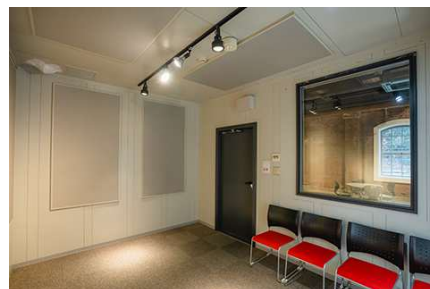
2階

文化・芸術に親しみ、発信する施設

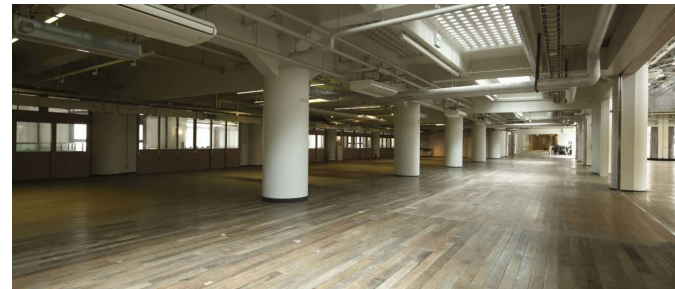
多目的ホール観覧スペース	—
多目的スペース・貸室	250m ²



舞鶴赤れんがパーク・市政ホール【出典】公式HP



舞鶴赤れんがパーク・スタジオ【出典】公式HP



デザイン・クリエイティブセンター神戸・ギャラリーA【出典】公式HP